戸建住宅の建物ストックを活かした、開放的なオフィス空間 -CVC ANNEX-

優秀賞 [コンバージョン部門]

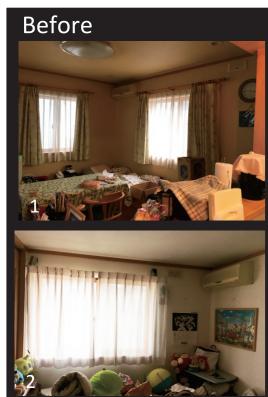
塚本二朗建築設計事務所 +環境システム研究所+安藤亮

加藤建設(株)

構造 木質系プレハブ

「職住融合」コロナ禍で自宅に仕事場を設ける動きが加速する中、 本件は住宅をオフィスに転用した作品。住居の心地よさの源泉であ るスケール感と木質感は残しつつ、執務空間の一定の広さは確保。 住宅地の中に住宅転用オフィスが増える今後を予見させる作品だ。

コンバージョン前後の写真

























コンバージョンの動機/設計・施工の工夫点/施主の満足度/利用者等の評価

【動 機】「新たなる価値を生み出すためには、今ある古いも のを再構築する」という経営理念を掲げる解体業等を営む企 業のオフィス。手狭になった本社の隣接地を入手することが でき、そこに建っていた一戸建て住宅がまだ活用できる状態 だった。建築ストックを活かすべく、この住宅を転用し本社 オフィスの別棟を計画した。

【設計・施工の工夫点】当初の施工者に確認の上、耐力壁以 外の間仕切壁を整理して、ワークスペース、ミーティングスでいる。木質系素材に囲まれ暖かみも感じられ心地よい。

建物として確保した性能

を考慮した耐久性能

特に配慮した事項

既存建物の性能の維持とオフィス利用|耐力壁によって区切られた住宅らしいスペースが流動的に連続するオフィススペース を目指した。工期やコストを考慮した撤去部の補修方法にも留意した。

施工の実現に寄与した。

データ

千葉県千葉市 所在地 該当工事床面積 182.5 ㎡ /総工事床面積

新築竣工年 2006 年 築後年数 182.5 ㎡ 該当部分工事費

年 施工期間 800万円 /総工事費

ペースを流動的に計画した。既存の石膏ボードの壁に暖かみ

のあるラワン合板を随所に貼り、無機質な執務空間にならな

いよう配慮した。これは間仕切り壁や、造作物を撤去した際

に傷ついた部分を迅速に補修する役割も果たし、短工期での

【施主の感想・満足度】 改修によってほどよい住宅のスケー

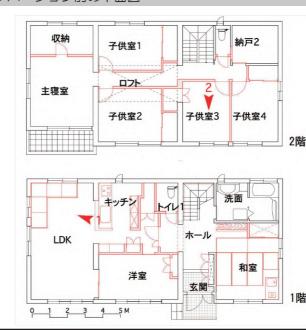
ルを活かつつ、視線が通り、明るく開放的な執務空間となっ

コンバージョン後の用途: □併用住宅/□店舗・飲食店/□宿泊施設/□多目的スペース/□子育て支援施設/□高齢者福祉施設/□図書館/□工房/■その他

コンバージョン前の平面図

日間

800万円



コンバージョン後の平面図

